

船舶事故等調査報告書

平成24年6月28日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012横第22号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成24年2月15日（水） 05時30分ごろ	
発生場所	千葉県いすみ市塩田川河口付近 いすみ市所在の大原港外北防波堤灯台から真方位315° 550m付近 （概位 北緯35° 15.6′ 東経140° 24.1′）	
事故等調査の経過	平成24年2月16日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 遊漁船 いずみ丸、4.98トン 船舶番号、船舶所有者等 232-3782千葉、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	なし	
損傷	全損（廃船）	
事故等の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、釣り客2人を乗せ、いすみ市太東 <sup>たいとうさき</sup> 崎沖でひらめ釣りをするため、いすみ市大原漁港を平成24年2月15日05時10分ごろ出港し、港口を通過後に釣り場へ向かった。 船長は、レーダーとGPSプロッターを作動させていたが、どちらも活用せずに同港沖を北西進中、05時30分ごろ塩田川河口付近の浅瀬に乗り揚げた。 船長は、自力で離礁を試みたができなかった。 警察は、発見者の通報を受け、海上保安庁に通報した。 船長と釣り客2人は、海岸から来た消防隊員に救助された。	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北東、風速 約2m/s、視程 約3km 海象：波高 約0.5m、潮汐 上げ潮の中央期 日出：06時24分ごろ	
その他の事項	船長は、本船で約14年間遊漁を行い、大原漁港を年間約180回出入港していた。 船長は、塩田川河口付近に浅瀬があることを知っていた。 船長及び釣り客2人は、救命胴衣を着用していた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、大原漁港沖を北西進中、船長がレーダー一等を使用して船位の確認を行っていなかったことから、塩田川河口付近の浅瀬に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が、大原漁港沖を北西進中、船長がレーダー一等を使用して船位の確認を行っていなかったため、塩田川河口付近の浅瀬に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	

参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・慣れた海域であっても、夜間は装備しているレーダー等の計器を使用して船位を確認すること。</li></ul>
----	--